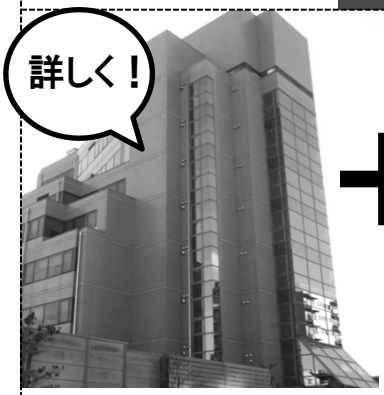
こがおも
KOGAOMO

噂の
小金井市を、もっとおもしろく。
こがおもマガジン

発行・責任編集：
小金井市東町4-43-1
三楽荘B号室
白井とおると
小金井をおもしろくする会

ほぼ月刊版
VOL.36
2016年8月3日発行号

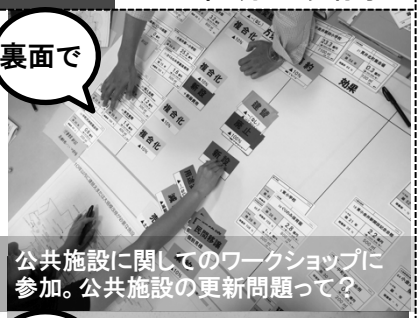


＋

段階の待機児童分析データ
平成28/4/1

児童	保育サービス利用児童数	就学前児童人口比率	待機児童数	全就学前児童比待機児童	保育サービス利用児童比待機児童
964	11,353	45.5%	139	0.6%	1.2%
692	3,701	42.6%	198	2.3%	5.3%
98	2,621	36.4%	122	1.7%	4.7%
543	3,543	37.9%	264	2.8%	7.5%
5,497	3,136	57.0%	25	0.5%	0.8%
13,974	5,360	38.4%	296	2.1%	5.5%
5,546	2,690	48.5%	21	0.4%	0.8%
11,697	4,677	40.0%	289	2.5%	6.2%
19,649	7,262	37.0%	182	0.9%	2.5%
5,882	2,222	37.8%	154	2.6%	6.9%
9,902	3,489	35.2%	167	1.7%	4.8%
9,420	3,080	40.0%	182	1.9%	4.9%

多摩地域の「待機児童発生率」で比較した小金井市の保育の現状



公共施設に関してのワークショップに参加。公共施設の更新問題って？

なぜ、小金井市議会、議会改革ランキング311位に下がったのか？

こがおもイベント開催報告
～毎月、勉強会やってます。

え？「6施設複合」じゃなかったの？
庁舎関係＋福祉会館の4施設複合
＜PT中間報告が公表されています＞

どうなる？新庁舎建設のゆくえ

小金井市政にとっての大きな課題の1つである新庁舎建設について、西岡市長はその選挙戦で「6施設複合化」を掲げていました。3月の議会ではその取り組みについて議会から指摘を受け予算が一時的に暫定予算になったのですが（5月末の臨時議会で通年予算が可決し暫定予算は解除）、6月の議会ではこの6施設複合化を検証するプロジェクトチーム（PT)の中間報告が議会に示されています。小金井市のHPにも公開されていますので、ご覧ください。

結論は、庁舎＋福祉会館の2機能のみ

この中間報告で結論づけられているのは、結局庁舎機能と福祉会館機能の2機能の複合化のみの整備とされています。これは5月の臨時議会でも示唆されていたことですが、改めてプロジェクトチームの結論として整理された行政としての考え方と位置づけられます。最終報告は8月とされていますが、西岡市長が市長選挙で約束した「私の最大の公約」は早くも撤回と言っても過言ではありません。

市長選の公約

4機能6施設複合化

- 庁舎機能（現・本庁舎と第二庁舎、本町暫定庁舎）
- 福祉会館機能（旧福祉会館）
- 図書館機能（現・図書館本館）
- 集会施設機能（前原暫定集会施設）

プロジェクトチーム PTの中間報告

2機能4施設複合化

- 庁舎機能（現・本庁舎と第二庁舎、本町暫定庁舎）
- 福祉会館機能（旧福祉会館）

市民参加で策定した新庁舎建設基本計画でも分散庁舎は統合することになっていたため、福祉会館のみが新しい材料となります。

表　防災機能を優先とする複合整備案に基づく概算建設工事費

対象施設	概略規模（上限値）（㎡）	想定事業費（百万円）	
総合庁舎	12,000	4,800	
福祉会館機能	3,500	1,400	公民館を含む。
小計	15,500	6,200	
消費税相当額		620	税率 10%
合計		6,820	

（引用）「6施設複合化（本庁舎・第 二庁舎・福祉会館・図書館・前原暫定集会施設・本町暫定庁舎）の実現に向けた調査、検討　中間報告書」（小金井市）より

期待された図書館は複合化対象外へ

多くの市民の方が一体整備されると期待していた図書館本館ですが、今回の中間報告で『本市における図書館の在り方、図書館施設の核となる機能を盛り込んだ中央図書館等、施設の運営形態、複合化の是非等についても丁寧な議論を重ねる必要がある。よって、その規模や整備すべき機能等については、別途の検討として整理する』とされています。

表　算定に基づく規模（想定人口 117,000 人）　（引用）左記に同じ

算定基準等	延床面積	蔵書冊数	開架冊数
図書館の設置及び運営上の望ましい基準における目標基準例	7,397.8 ㎡	631,263.8 冊	352,018.3 冊
公立図書館の任務と目標	5,171.0 ㎡	518,680.0 冊	267,885.0 冊
現在の図書館	約 3,200.0 ㎡	約448,000.0 冊	約274,000.0 冊
差	△1,971 ㎡～△4,197 ㎡	△33,680 冊～△146,263 冊	40,115 冊～△44,018 冊

現状の規模では「望ましい」延べ床面積、蔵書冊数等をクリアできないまま、中途半端な図書館となってしまいます。西岡市長の市長選挙時の複合化プランは今のままの床面積で仮試算されていたようです。

（補足）一応、建設床面積として7,000㎡の余剰はあるので、無理やりやろうと思えばそこに後からでも建てることは可能です。ただし、それでは「防災機能優先」とするためのスペースが充分とれないことと、一体整備でないことからコスト面でのメリットはなくなるため、今回の複合化からは「外された」とみています。

議会、中間報告の質疑をボイコット？

この中間報告に対する質疑の場として設定された6月22日の全員協議会は、残念ながら一切質疑は行われませんでした。午前中に資料の説明が終わった後に複数の議員から「スケジュールや財政計画が示されていない。資料が揃うまで質疑はできない」と資料要求が入り、議事は一旦休憩に入りました。しかし、結局資料は提出されることなく、質疑も行われないまま会議が閉じられたのです。最終報告が8月中になされるため、この段階でしっかり質疑し議会としての意見をぶつけるべきではなかったのでしょうか。このままでは、進むものも前へ進みません。

今月のボヤキ

中間報告としてまずは質疑をおこなった上で、最終報告に向け要望を出せばよかったのでは？

待機児童、小金井市は計画比で116人増

平成28年4月1日現在
154人

昨年対比
昨年5月1日段階の小金井市待機児童数
30人増

計画比
子ども・子育て支援事業計画
116人増

平成28年4月1日現在での小金井市の待機児童数が154人で確定しました。前回「速報値」としてお伝えした149人からさらに5人増えたことになります。なお、昨年5月1日時点での待機児童数が124人だったため（昨年4月1日段階では164人だが、これは4月1日開所予定だったある認可外保育所の開所が1ヶ月伸びたことから、5月1日段階での124人を基準とするほうが適切）、昨対比でみても30人増。そして子ども・子育て支援事業計画の目標値からは116人増という有りさまです。

この大幅増の原因は、子ども・子育て支援事業計画を立てるための「人口推計」と「実際の児童人口」とのギャップにあった

	事業計画策定にあたっての人口推計		実際の人口（平成28年3月1日段階（小金井市HPより））		その差		保育利用率（事業計画の数字を採用）		待機児童数のギャップ（数字上の「人口推計」と「実際の児童数」の間の必要な保育枠ギャップ数）
0歳児	952人	→	1,062人	=	110人	×	26.4%	=	29人
1歳児	948人	→	1,052人	=	104人	×	43.2%	=	45人
2歳児	957人	→	1,048人	=	91人	×	43.2%	=	39人
								合計	**113名**

計画上の待機児童数の予測は38人ですから、足すと151人という計算になり、今回の154人と数字上ではほぼドンピシャとなります。1年以上前から指摘し提案している「計画の修正」に手をつけ、実状に沿った対策を望みます。

待機児童、小金井市は多摩26市で発生率ワースト3位

東京都が7月19日に都全体の待機児童数を公表しました。市町村別の待機児童数もHPに掲載されていましたので、独自に「全就学前児童比待機児童」に算出して表にしてみました（多摩26市のみ）。グロス数では比較できませんが、割合でみるとその自治体の児童人口に対する待機児童の割合がパーセンテージで表されるため深刻度が比較できます。

これをみると、狛江市（3.6%）→三鷹市（2.8%）→小金井市（2.6%）の順で待機児童の割合が高いことがわかります。

※我が小金井市は2年前（平成26年）に4.5%という数字を記録したことがあります（その年を含めて3年連続待機児童発生率ワーストを記録）。

稲葉前市政下での消極的な待機児童対策の影響をまだ引きずっている小金井市。しかし、西岡市長のアクションが遅いことが気になります。

28年4月1日段階の待機児童分析データ

市町村名	平成28/4/1 就学前児童人口	保育サービス利用児童数	就学前児童人口比率	待機児童数	全就学前児童比待機児童
八王子市	24,964	11,353	45.5%	139	0.6%
立川市	8,692	3,701	42.6%	198	2.3%
武蔵野市	7,198	2,621	36.4%	122	1.7%
三鷹市	9,343	3,543	37.9%	264	2.8%
青梅市	5,497	3,136	57.0%	25	0.5%
府中市	13,974	5,360	38.4%	296	2.1%
昭島市	5,546	2,690	48.5%	21	0.4%
調布市	11,697	4,677	40.0%	289	2.5%
町田市	19,649	7,262	37.0%	182	0.9%
小金井市	5,882	2,222	37.8%	154	2.6%
小平市	9,902	3,489	35.2%	167	1.7%
日野市	9,420	3,820	40.6%	183	1.9%
東村山市	6,950	2,600	37.4%	76	1.1%
国分寺市	5,732	2,398	41.8%	102	1.8%
国立市	3,366	1,422	42.2%	81	2.4%
福生市	2,390	1,379	57.7%	0	0.0%
狛江市	3,937	1,484	37.7%	142	3.6%
東大和市	4,569	2,065	45.2%	7	0.2%
清瀬市	3,404	1,335	39.2%	44	1.3%
東久留米市	5,574	2,127	38.2%	92	1.7%
武蔵村山市	3,579	1,883	52.6%	0	0.0%
多摩市	6,798	2,969	43.7%	79	1.2%
稲城市	4,961	2,040	41.1%	0	0.0%
羽村市	2,658	1,386	52.1%	1	0.0%
あきる野市	3,841	1,846	48.1%	18	0.5%
西東京市	9,648	3,487	36.1%	154	1.6%
26市合計	199,171	82,295	41.3%	[illegible]	[illegible]

HEADLINEニュース

▼議会改革ランキング、第311位

今年も早稲田大学マニフェスト研究所発表の「議会改革度ランキング」が発表されました。昨年の兵庫県議会の号泣議員をはじめとして、地方議員の不祥事が取り沙汰される中、時々訪れる「地方議会改革」の波がまたきているように感じています。小金井市議会は、昨年は102位（回答のあった1,503議会中）でしたが、今年は311位（回答のあった1,469議会中）と大きくランクを下げています。このランキングが全てではありませんが、議会基本条例の策定の機会に、市民にとって使いやすくわかりやすい議会に絶え間ない努力と工夫で変えていって頂きたいものです。

多摩26市では以下の議会が300位内にランクインしています。

- ・町田市議会　9位（昨年10位）
- ・東村山市議会　32位（昨年37位）
- ・多摩市議会　79位（昨年41位）
- ・立川市議会　81位（昨年59位）
- ・調布市議会　153位（昨年142位）
- ・国立市議会　158位（昨年100位）
- ・三鷹市議会　187位（昨年ランク外？）

▼公共施設再編に向けて、市民への周知が進んでいないのでは？

6月18日に市主催で公共施設に関する意見交換が開催されました。実質はワークショップ主体のイベントであり、今後の公共施設の再編について考えるキッカケとなったイベントでした。これは今年度中に「公共施設等総合管理計画」を策定する材料となるものですが、「施設白書」作成から4年経過しながら市民を巻き込んだ議論をしてこなかったため、このイベント1回きりでは後に各施設の再編へ具体的に動いていく際に、市民合意が困難になると考えています。同様のイベントをもっと回数を増やし市民への問題意識の浸透を進めるべきでしょう。

▼毎月、イベントを開催しています！「本×まちづくり」は大盛況でした★

6月26日に開催した「本×まちづくりについて話をしよう」は24名が狭い事務所に入り、大盛況でした。こがおもではツキイチ勉強会を開催しています。気軽に立ち寄ってみてください（^^）

アンバサダー（会員）募集！！

一緒に活動、または活動を応援してくれませんか？（年会費2,000円）ご興味のある方は、お気軽にお問合せください★会員になると→こがおもマガジンの郵送、定期メルマガ配信で市政情報がまるわかり！寄付も受け付けてます（^^）

白井とおると
小金井をおもしろくする会

元小金井市議会議員
代表　白井 亨（しらいとおる）

白井とおると小金井をおもしろくする会代表。1975年生／大阪府枚方市生まれ・育ち・、2007年に転勤で偶然小金井市に住みつく／3歳と5歳の子育て中。約6年前まで“無関心市民”、小金井市は“寝に帰るだけのまち”だったが、2010年子どもが生まれたことがキッカケで地域デビュー。2013年3月、13年間勤めた会社を辞め「地盤・看板・カバンなし」で選挙素人市民だけで小金井市議会議員選挙を戦い初当選。完全無所属。2015年10月末で議員辞職し小金井をみんなで、ホンキで変えるため同年12月の市長選挙に立候補するも惜敗。今、再び会社員（企画・マーケティング全般）。

【これまでの実績】

▼自身の一般市民時代の感覚をもとに、市役所改革（行財政・人材育成・ガバナンス）、保育園待機児童問題、子育て環境の充実、シティプロモーション、オープンガバメント、市民主体のまちづくり、2025年問題、議会改革などに取り組む

▼議員時代、誰でも参加できる「議会カフェ」をほぼ毎月開催。素人でもわかりやすく、市政状況を解説し意見を引き出す「対話」を地道に実行

▼第8回マニフェスト大賞「優秀ネット選挙・コミュニケーション賞」受賞、第10回同賞再受賞（H25年小金井市議会新人議員チームの取り組み）

▼毎日フォーラム、日経グローカル、政治山、政治美人などメディアへの寄稿・取材多数

8月のこがおも勉強会

さぁ、いっしょに考えよう！

「小金井の保育、について話をしよう。」

保育についてシリーズ
8月下旬（予定）
8月～10月で3回に渡ってテーマ・話し手を変えて開催する予定です

保育行政の在り方、今の小金井市の保育行政の課題などをシリーズ化して複数回にテーマを分けて開催する予定です。内容は決まり次第、blog、facebookページなどで告知します。

遠慮なく、お気軽にご意見ください★

kogaomo@gmail.com
twitter @shirai106
facebook facebook.com/shirai106
facebook.com/kogaomo
Ameba ameblo.jp/toru-ga-toru/
WEB事務所 http://kogaomo.com/
東町4-43-1 三楽荘B号室